



議会だより



もくじ

集う居場所ぱんぶきん⇒関連記事 裏表紙

9月定例会の報告	2～5
6月定例会の委員会意見と当局回答	5
一般質問に19人	6～16
意見書・請願	16
トピックス・12月定例会のお知らせ	17
委員会視察報告	17～18
委員会懇談会報告	19
あたたかな笑顔を訪ねて・編集後記	20

発行：豊岡市議会
編集：議会広報広聴特別委員会
〒668-8666
豊岡市中央町2-4
Tel：0796-23-1119
Fax：0796-24-8041
E-mail gikai@city.toyooka.lg.jp
URL <https://www.city.toyooka.lg.jp>

一般会計歳入歳出決算

賛成多数で認定

補正予算案は全会一致で可決



第81号議案 令和5年度豊岡市水道事業会計決算の認定

▼意見・要望▼ (建設経済委員会)

特に※有収率の低い地域への対策を図り、有収率の向上に努められたい。

※有収率…給水する水量と料金として収入のあった水量との比率

令和5年度決算をはじめ、報告、物件購入契約、財産の無償貸付、条例改正、補正予算、並びに意見書、請願を審議しました。

主な議案の審議状況をお知らせします。



ホームページでも議会の情報をご覧いただけます。

豊岡市議会

検索 ポチッ

《賛否が分かれた議案》

第72号議案 令和5年度豊岡市一般会計歳入歳出決算の認定 (4・5ページをご参照下さい。)

第73号議案 令和5年度豊岡市国民健康保険事業特別会計 (事業勘定) 歳入歳出決算の認定

【反対討論】(要旨)

国民健康保険は毎年のように保険税が引き上げられている。令和5年度も標準世帯で2,400円の引き上げであった。国保は低所得者が多く、物価高の中で、むしろいかに引き下げを行うのか検討すべきである。よって決算の認定には反対である。(日本共産党豊岡市会議員団議員)

【賛成討論】(要旨)

国民健康保険制度は、市にとって大変重要な基本的な医療保険制度である。国民健康保険事業は、国民健康保険運営協議会の結果を受けたものであり、適正であると判断し、決算の認定には賛成である。

(ひかり議員)

多くの傍聴があった9月定例会（9月9日）



主な補正予算案

- 一般会計補正予算（補正第3号） 約3億4,754万円の増額
 - ・定額減税補足給付金の支給 3億4,324万円 ほか
- 一般会計補正予算（補正第4号） 約8億6,892万円の増額
 - ・带状疱疹予防接種補助事業 6,096万円
 - ・新型コロナワクチン定期接種事業 1億647万円
 - ・陸上競技場第4種公認更新 3,794万円 ほか

9月
定例会

議案審議

8月30日～9月27日（29日間）

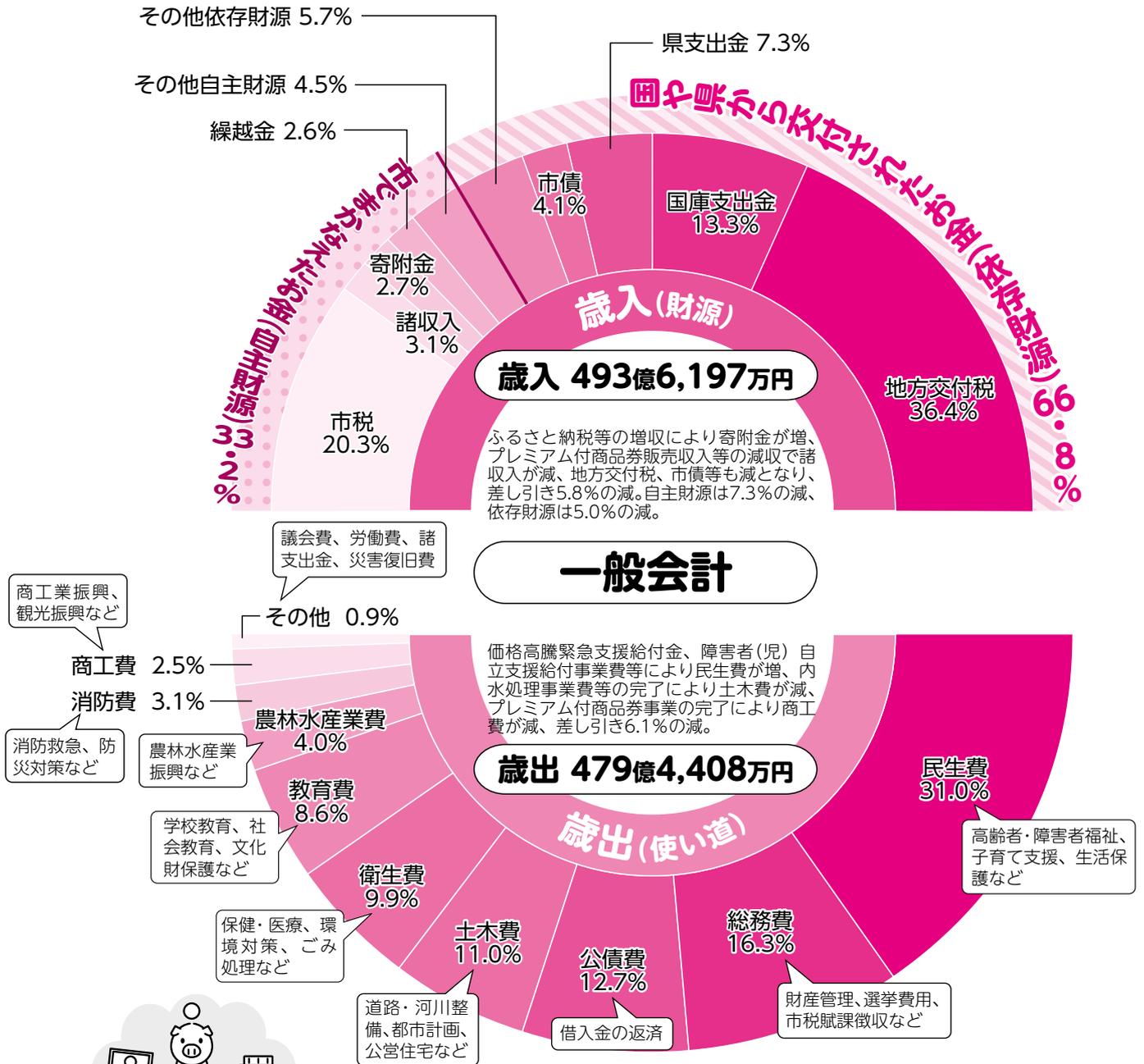
意見が分かれた議案の賛否一覧表

本会議での賛否を公開します。掲載のない議案は全会一致で可決されました。
賛成は「○」、反対は「×」、議長は採決に加わらないので「/」、欠席は「欠」で表示しています。

議案名等	豊義会																令和とよおかクラブ			ひかり			日本共産党 豊岡市議員団		豊岡市議 会公明党		審議結果
	浅田徹	荒木慎太郎	岡本昭治	木谷敏勝	小森弘詞	芹澤正志	前田敦司	前野文孝	森垣康平	米田達也	石田清	清水寛	田中藤一郎	福田嗣久	松井正志	太田智博	西田真	義本みどり	上田伴子	須山泰一	村岡峰男	芦田竹彦	竹中理				
第72号議案 令和5年度豊岡市一般会計歳入歳出決算の認定について	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	認定		
第73号議案 令和5年度豊岡市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)歳入歳出決算の認定について	/	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	認定		

令和5年度一般会計決算を認定！

市民の皆さんの税金の使い道を徹底審議しました。



市民一人当たり決算額(一般会計)
一人当たり631,516円使いました
前年度比30,385円DOWN↓
※2024年3月末人口75,919人から算出

民生費 195,962円 5,949円UP↑	総務費 102,989円 3,710円DOWN↓	公債費 80,126円 2,050円DOWN↓	土木費 69,452円 4,105円DOWN↓
衛生費 62,601円 4,952円DOWN↓	教育費 54,035円 1,107円DOWN↓	農林水産業費 25,037円 283円DOWN↓	消防費 19,535円 286円DOWN↓
商工費 15,998円 20,977円DOWN↓	その他 5,781円 1,136円UP↑		



本会議での 反対・賛成討論

令和5年度豊岡市一般会計歳入歳出決算認定

反対討論（要旨）

超過課税について、当初予算にも反対していた。特に、個人市民税の決算は約5千万円であり、これについては全国で豊岡市だけである。市民の生活はますます厳しさを増しており、超過課税は直ちに廃止すべきだ。

次に、コウノトリ但馬空港利用促進の補助金について、高い補助率について見直しを求めて、見直しもされたが、依然として高い補助率に変わりはない。市民以外のビジネスで利用する人には補助があることも矛盾があると思う。よってこの決算について認定できない。
（日本共産党豊岡市会議員団議員）

賛成討論（要旨）

市民税および固定資産税の超過課税は、都市計画税の廃止に伴う代替財源として議会で認めてきたもので、今日の市民の暮らしを着実に支えている。本決算は適切妥当であり、認定すべきである。
（ひかり議員）

コウノトリ但馬空港は、交流人口のさらなる拡大のため、ビジネスや観光にとっても重要な交通手段である。空路の維持と、今後実施されるべき滑走路延長と東京直行便を実現するために、但馬空港利用促進の補助金を実施してきた。その結果、搭乗率が向上しており有効に機能している。よって、本案に賛成する。
（豊義会議員）

予算決算委員会意見・要望

コウノトリ但馬空港利用促進の補助金について、今まで通り搭乗率の向上を目指していただきたい。一人当たりの利用回数など、市民にとって不公平感のないように制度設計にも留意していただきたい。



その後どうなった?!



6月定例会の委員会審査における委員会意見と回答

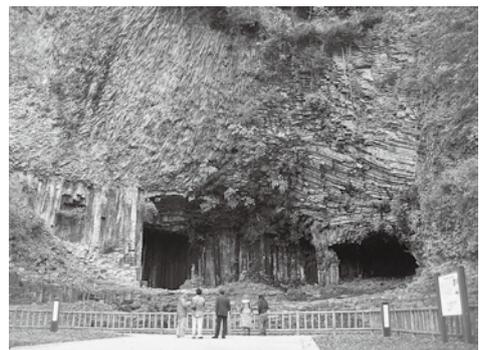
👉 山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク

山陰海岸ジオパークがユネスコ世界ジオパーク認定されている恩恵として、観光地としての魅力の向上や、地域の誇りと郷土愛の増加があげられる。

現在、再審査が迫っており、特に今回は、将来のジオパーク認定にも影響を与え得る重要な指摘事項があることから、関係機関及び民間企業との緊密な連携をはかり、再認定に向け努力されたい。
（予算決算委員会）

👉 指摘事項に対する対応は、山陰海岸ジオパーク推進協議会が中心となって、他の関係機関と連携協力し、世界の手本となるような解決方法に向け、今後も民間企業との継続的な対話を行っていくこととしている。
（観光政策課）

ベトナム・カオバンで開催された第9回ユネスコ世界ジオパーク・カウンシル9月セッションの結果、山陰海岸ユネスコ世界ジオパークが再認定（グリーン）となりましたのでお知らせします。



9月定例会

※ここに掲載する質問・答弁は、9月9日～12日のものです。
内容については、昨今の社会情勢・対応策等、日々状況が変わってきています。

一般質問に19人

市民の皆さんの身近な問題、市の予算や政策など、

さまざまな課題について活発な議論を交わしました。

市議会の本会議が
インターネットで
ご覧になれます！



インターネットにより、定例会の様子をライブ中継と録画中継で映像配信しています。ぜひご覧ください。

豊岡市議会インターネット中継

検索



スマートフォンでも定例会のライブ中継を配信!

芦田 竹彦 (7ページ)

- 人口減少対策
- 高齢社会対策
- 学校における補助教材
- 外出支援サービス事業
- 外国人材の受け入れと多文化共生社会の実現

荒木 慎太郎 (7ページ)

- DX
- 部活動指導員人材バンク
- 豊岡市奨学金制度

森垣 康平 (8ページ)

- 地方創生
- 市内県立高等学校の配置
- 出石温泉

石田 清 (8ページ)

- スマートシティの推進
- 国府地区西芝樋門付近の内水処理対策
- 福祉医療費助成の進め方
- 地域計画策定の進捗状況と補助事業における地域計画の要件化
- 子ども食堂と障害者就労の支援

岡本 昭治 (9ページ)

- 新文化会館建設
- 市が管理する道路における植栽
- 水道管の耐震化

清水 寛 (9ページ)

- 業務管理
- 作物の高温障害

芹澤 正志 (10ページ)

- 副市長二人制
- 記念事業
- ふるさと納税
- 農業政策

太田 智博 (10ページ)

- 中学校部活動の地域移行
- 教職員の働き方改革
- 事務処理誤り
- 新文化会館整備事業
- 市内幹線道路における渋滞解消
- 市街地道路冠水対策
- 地域公共交通

義本 みどり (11ページ)

- 災害・防災対策
- 子育てや介護支援等

村岡 峰男 (11ページ)

- 令和5年度決算
- 農政
- 新文化会館建設
- 手話言語条例

福田 嗣久 (12ページ)

- 地方創生
- アイティ
- 新文化会館整備
- ウエルストーク
- 有害獣対策

田中 藤一郎 (12ページ)

- 豊岡市の人口減少による影響と今後
- 新文化会館整備事業
- インクルーシブ社会へ向けての市としてのあり方

前野 文孝 (13ページ)

- 関買市政
- 教育

前田 敦司 (13ページ)

- 市民との共創
- 本市の観光戦略
- 移住定住促進
- 子どもの移動に関する支援

須山 泰一 (14ページ)

- 平和都市宣言の街
- 学生と若者が輝く街
- 農業者が元気な街
- 勤労者が豊かな街
- 市民が安心して暮らせる街

小森 弘詞 (14ページ)

- 適正な事務処理
- 公共施設整備
- 地域包括支援センター
- 防災対策

松井 正志 (15ページ)

- 人材の確保と育成
- 職場内ハラスメント
- 長期財政見直し

上田 伴子 (15ページ)

- 「就学援助」制度
- 介護事業
- 新型コロナウイルス感染症への対策
- 保育士募集
- サルの被害

木谷 敏勝 (16ページ)

- 選挙公約の自己評価
- 選挙公約で見直すとした政策等の現時点での評価と残りの任期中にやり遂げるという意気込み
- 豊岡市政推進に向けた取り組み

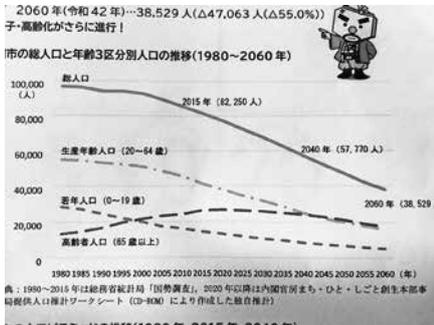
写真下の **二次元バーコード** で
質問の録画映像をご覧くださいませ



芦田 竹彦 議員
豊岡市議会公明党



問 人口減少対策への取り組みや政策はどうか
答 人口の社会減の緩和について一定の成果は見られるが、状況を大きく改善するには至っていない。地方創生総合戦略に基づいた施策を着実に継続的に取り組み、次期地方創生総合戦略を策定する中で、人口減少対策に有効な戦略や手段、目標などの検討を行い、人口減少のスピードを緩和し、人口減少下にあっても街の活力が維持されるよう取り組みを進める。



2060年(令和42年)…38,529人(△47,063人(△55.0%))
子-高齢化がさらに進行!
市の総人口と年齢3区分別人口の推移(1980～2060年)

問 こども医療費の条例化は、福祉医療費助成の他の5事業とともに検討を進めており、各助成事業を整理し、分かりやすい例規に見直し、12月定例会に条例制定案を提案する。
答 どの教材においても、各教科における基礎基本の定着や習熟度を高めることに効果的である。
問 補助教材費は児童生徒一人当たり、どのくらいの保護者負担になるのか
答 各学校の実態に応じて差はあるが、小学校6年間合計5万円程度、中学校3年間で合計5万5千円程度となっている。
問 補助教材の学びの効果についての所見は
答 どの教材においても、各教科における基礎基本の定着や習熟度を高めることに効果的である。

福祉タフシー助成事業

問 福祉タフシー券の利用状況と利用枚数の拡大についてはどうか
答 本年度の申請者数は113人で、利用率は24.7%。本事業の目的が果たせるよう、利用枚数の拡大も含めて、利用率が向上する方策について検討する。

人口減少対策への取り組みは
答 地方創生総合戦略を着実に継続的に取り組む

貸付額を積み増すような改良を
答 奨学金の増額は今のところ考えていない



荒木慎太郎 議員
豊義会



問 奨学金制度
答 物価高騰などの影響により、大人と同様、学生も金銭的に苦しい状況に置かれている。条件を定め限定的にでも貸付額を積み増せないか
答 豊岡市奨学金は貸与型であり、金額を増額することは将来の利用者の返還金額が増えることになるため、今のところ考えていない。
問 専門学校等の学生も対象にできないか
答 豊岡市においては、今のところ専門学校、専修学校の専門課程の学生

問 地域移行に当たって、今の部活の形を変えていく必要がある。筋力トレーニングや基礎体力を身につけるようなものを休日だけ行っていく。そのような考えはあるか
答 考え方は参考になる。部活動の地域移行を基に、部活の考え方を变えるのが全国の流れになっている。県にも話をしながら

問 DX化を進めた先に目指しているものは何か
答 豊岡で暮らしてよかったとみんなが実感できるまちの実現の一助になると考えている。
議員のひとこと
DXは確かに大事だが他の市町にはない強みを伸ばしていくことが最重要

問 物価高騰などの影響により、大人と同様、学生も金銭的に苦しい状況に置かれている。条件を定め限定的にでも貸付額を積み増せないか
答 豊岡市奨学金は貸与型であり、金額を増額することは将来の利用者の返還金額が増えることになるため、今のところ考えていない。

問 地域移行に当たって、今の部活の形を変えていく必要がある。筋力トレーニングや基礎体力を身につけるようなものを休日だけ行っていく。そのような考えはあるか
答 考え方は参考になる。部活動の地域移行を基に、部活の考え方を变えるのが全国の流れになっている。県にも話をしながら

問 DX化を進めた先に目指しているものは何か
答 豊岡で暮らしてよかったとみんなが実感できるまちの実現の一助になると考えている。



議員のひとこと
利用者の生活を想像し時代に合わせたより使いやすい制度へ!

問 豊岡市役所の取り組みDXとは
答 業務のデジタル化や効率化ではなく、デジタル技術の活用などによって組織や業務を本質的に変革し、コストを低減。よりよい公共サービスを市民に提供していくこと。



荒廃がすすむ出石温泉乙女の湯

のではありません。魅力・

【問】 今後の施設のあり方に関して、地域の方々と一緒に考える場を設置す

市内県立高校の配置

【問】 市としてUターンを歓迎している状況の醸成

【問】 今後のような分野でドローン利用を進める

【問】 西芝樋門付近の内水処理対策の課題、計画概要、国県との調整および事業のスケジュール感

【問】 障害者の就労支援

議員のひとこと
「*ひぼこホール」「乙女の湯」出石が大事にしてきた神の名を冠した施設。何とか残していただきたい。



出石温泉乙女の湯の今後の方針は



森垣 康平 議員 豊義会



※ひぼこホール：建物設備の劣化により、地元で惜しまれながら2019年度に解体された施設

【答】 法的整理と平行して今後のあり方を検討する

スマートシティ計画が必要では



石田 清 議員 令和とよおかクラブ



※スマートシティ：デジタル技術を活用して市民の生活を便利にするまち

【答】 まずは、行政サービスのDXを進めている



出石と但東の間でドローンによる荷物配送の試行

整備におけるあらゆる可能性とは

答 現豊岡市民会館の長寿命化も選択肢に

新文化会館建設

問 豊岡市民会館の老朽度調査内容に、「ホールをつり天井が既存不適格、大地震の際は極めて危険な状態」とある。使用時の事故が懸念されるが、市の認識はどうか

答 建物の経年劣化については、定期保守点検の回数を年3回から年4回に増やすなど、事故の未然防止や不具合に早期に対応できる体制を整えている。

問 全体事業費65億円に対し、約40%近く事業費は高騰しているとの説明だが、議会への概算事業費および財源内訳の早期提示を強く要望す

るがどうか

答 現在の計画にとらわれることなく、施設の機能、規模の見直しも視野に入れながら全体事業費の抑制を図り、できる限り早期に方向性を示したい。

植栽維持管理費の低減

問 道路の景観として、植栽の必要性の低いところ



新文化会館建設予定地の現在

水道管の耐震化

問 地震に対する水道管の耐震対策を計画的に実施する必要があると考えるが、耐震化をより進めるための方策はどうか

答 補助事業など有利な財源については、今後も研究を進める中でしっかりと活用する努力をしていきたい。また、適切な更新計画をする上で、耐震化も重要な要素の一つとして進めたい。

不適切な事務処理の原因究明は

答 第三者による職場ヒアリングを実施している

問 市職員個人が仕事を抱え込むケースが多いと感じるがどうか

答 事務処理誤り等が起る原因について、①組織の在り方②施設の問題③業務内容④職員の状況などと想定。個人が仕事を抱え込む業務の属人化も、これらによると考えられる。ヒアリング結果を分析し、対応策を検討したい。

問 正副担当制は機能しているか

答 担当制の課題は、事務や業務の過度な属人化と考える。特定の職員に業務が依存するため他者の視点が入りづらく、チェック機能が働かないなどの問題を引き起こす。課題を克服するため、マニュアルによる業務の標準化や担当者以外も

務の進捗状況が確認できる業務プロセスの見える化が必要であり、デジタル技術活用が有効と認識。属人化解消は、事務処理ミスの抑制などリスクマネジメントの強化のみならず、人材育成や行政サービスの品質維持、組織のチーム力向上にもつながるため、今後積極的に導入を検討したい。

米不足の解決策

問 働く場と担い手を確保する取組状況はどうか

答 農業人材確保は大きな課題。四半世紀ぶりに法改正され、担い手の育成、農地確保に向け、大規模農家等とともに



生涯でお米作りのトライは50回できる？!

議員のひとこと
果敢なトライ&エラーを経て未来はひらけるはず。



岡本 昭治 議員

豊義会



清水 寛 議員

令和とよおかクラブ





人気の返礼品「旅行券」

問 本市へのふるさと納税額は年々増え続け、旅行商品への納税額も順調に推移しているが、観光施策に対する財源が縮小傾向にあることから、市内各地の観光スポットを応援する納税者をさらに拡大し、観光施策の財源に充てる積極的な考えは

答 寄付者の意向に沿って観光施策にも充当する

ふるさと納税の使い道は



芹澤 正志 議員 豊義会



問 今後コメ不足の再発が懸念される中、農家の高齢化や後継者不足によって農家数が減少傾向にあることを踏まえた、市としての対策は

コメ不足対策

議員のひとこと

安定した市民生活を継続していくために、稼げる産業への投資による、経済の活性化を進め、賃金と物価の好循環を市全体に行き渡らせる行政を！



問 持続可能なコメ作りができるよう、作業の効

率化を図るための農業用機械の導入や、生産性の向上を図るための土地改良事業等、必要な生産基盤の整備について、国県等の事業を活用しながら引き続き取り組んでいく。

北但大震災100年

問 来年5月23日に北但大震災100年を迎えるにあたり、市としての記念事業等の計画は

答 左折信号機の設置により混雑が解消した

豊岡病院交差点の渋滞解消策は



太田 智博 議員 ひかり



問 豊岡病院交差点の渋滞を緩和したいと渋滞時に救急車が走れるのか危惧するがどうか

問 市主催事業としては2課で検討を進めている。危機管理課では、市民の防災意識の啓発および減災対策の向上につながる事業を、環境経済課では、豊岡復興建築群をキーワードとした事業を検討している。城崎振興局としても、記念シンポジウムなどに連携・支援していく。

議員のひとこと

豊岡病院交差点と中陰北交差点の渋滞解消を。

問 昨年12月に戸牧側からの信号機に左折信号機を設置した。この対策により以前より混雑が解消したとの声がある。



豊岡病院交差点の渋滞解消へ

問 計画における稼働時期については来年の出水期となるが、年度内に完成し4月1日からの稼働を目指す。

問 10月は台風シーズンとなり、冬になれば降雪もある。一番大事なときにポンプが稼働できるのか心配するところである。少しでも早い稼働をお願いしたいがどうか

問 市街地道路冠水対策事業として計画している加広野田線、西花園ポンプの増強工事の進捗状況はどうか

市街地道路冠水対策

写真下の **二次元バーコード** で
質問の録画映像をご覧いただけます

想定避難者数4671人は妥当か

答 昼間の交流人口を考慮していない数字

問 地震の被災自治体の市長の講演で「被害想定を点検すべき」と。本市の想定避難者数は妥当か

答 県が震源地別に想定避難者数を示し、本市は日本海沿岸4671人を採用し避難物資を備蓄。しかし、本市直下の伏在断層であれば1万7124人。人口動向や社会経済状況を踏まえた見直しについて研究・検討する。

望ましいと考える。そのことを県の会議等で発言はできないか

答 話はしてみたい。

議員のひとこと

県と市は対等な立場。県の動きを待つのではなく積極的に発言を！

問 災害時のトイレは人間の尊厳・健康・犯罪とも密接に関係している重要な問題。本市の考えは

答 トイレが排泄物でいっぱいになり使用を控えようと水分を取らず体調を崩し病気になるなど災害時

問 市職員の子どもの看護休暇は、正規雇用と会計年度任用職員とでは格差がある。子どもは免疫上10歳までは感染症になりやすい。勤務し始めの有給休暇が少ない時こそ必要。是正すべきでは

答 自らの子育てを思い出しながら議員の説明を聞いていた。子育て当事者の目線で考えなければという課題認識を持った。



トイレを我慢すると災害関連死につながります！



義本みどり 議員
ひかり



※伏在断層：地表に断層面が現れない断層

いつまで取るのか？超過課税

答 未来永劫にあり続けるものではない

市民税の超過課税は廃止を求める

手話言語条例の制定

問 超過課税の創設時の議論で、時限を切らなかつたことは後悔の種だという声もある。決算の約11億円の赤字もあり、個人市民税の超過課税から廃止をして市民のくらしを応援すべきではないか

答 未来永劫にあり続けるものではない。いずれ見直さなければならぬ。負担が大きいのというが、納税者一人当たり平均で1600円程度であり、超過課税分で、36000人程度の方が、所得割納税義務者だ。広く薄く負担を願って維持している。

問 10月をめどに手話言語条例のプリックコメントを実施し、3月議会に条例を提案するとしているが、条例制定後の施策展開はどうか

答 条例制定後の施策としては、聴覚障害への理解促進と手話言語の普及しやすい地域づくりを計画的に取り組んでいく。

問 聴覚支援学校は県下に5校あり、そのうち1校が豊岡市にある。豊の方もほかの町に比べて多い。先駆けて条例を求めてきたが、県下41市の中で最後の条例制定市となる。ほかの街の条例をしっかりと研究して、最も素晴らしい条例を作ってほしいと思うがどうか

答 県下の中で遅れているので、いろいろな条例を見ながら、一番いい条例を作りたい。



演説会などでも手話通訳が増えています



村岡 峰男 議員
日本共産党豊岡市会議員団





福田 剛久 議員
令和とよおかクラブ



新文化会館整備計画の見直しは

答 あらゆる可能性を排除せず検討する

新文化会館整備

問 事業費が当初計画では56億円。そして65億円へ増額。今回90億円を超える高騰の様子。財政状況を勘案して慎重にならざるを得ないが、あらゆる可能性を排除せず検討することあるがどのようなことを指すのか

答 財政負担の抑制を図るため、現市民会館を長寿命化することも含め検討を進めたい。新文化会館の計画ができた時、改修・長寿命化を図っても20年しか持たないと言われたが、再度確認したがそのようなことはないだろうと思われる。



これでいいんじゃない?

財政運営にどんな影響が及ぶと考えているか

答 現在の整備費用より27億円増額。全額、公共施設等適正管理推進事業債を発行すると、市の実質負担額が毎年0.7億円増加する見込み。長期財政見通しでは今後10年間で年平均6.4億円の歳入不足が生じる見込みとなり、整備費用が増加するとさらに厳しい財政

運営になる。

問 現在の市民会館の利用も含めたライフサイクルコスト比較表が議員や市民にも必要だがどうか

答 ライフサイクルコストも判断材料の一つとして作成する必要があると考える。

問 現在の市民会館を長寿命化した場合、公共施設等適正管理推進事業債が使えるのか

答 基本的には公共施設等適正管理推進事業債を充てることができると思込んでいます。

議員のひとこと

どれだけの市民が新文化会館を必要としているか。子孫の代まで大きな負担を背負うことになるが。



問 新文化会館整備事業費の見通しでは90億円の巨額予算が必要と判明した。厳しい財政状況の中で、さらなる市民負担を求めることへの整合性と未来の市民への責任について、市の考えは

答 本市の財政状況では全体事業費をこのままを進めることは慎重にならざるを得ず、現豊岡市民会館の長寿命化など含めた検討もしていく。

人口減少対策

問 2005年から2020年の間で、但東地域は30%、竹野地域は25%人口が減少した。このままでよいのか

答 短期的に著しい効果の出るような施策はないが、地域ごとに手を打っている。

問 インクルーシブ社会へ向けた考え方は、多様性が重視される

議員のひとこと
昨年但東町で生まれた子は6名。これで本当に地域が守られるのか。



議員のひとこと

人権問題はとても大切な課題。だからこそしっかりと取り組んでいかなければならない。



国勢調査結果に基づく各市町単位の人口推移 (単位:人)

地域	2005年	2010年	2015年	2020年	減少率
豊岡地域	45,997	44,598	43,375	41,827	9.1%
城崎地域	3,973	3,778	3,519	3,125	21.3%
竹野地域	5,444	4,973	4,496	4,115	24.4%
日高地域	17,697	17,242	16,609	15,517	12.3%
出石地域	10,824	10,259	9,994	9,160	15.4%
但東地域	5,273	4,742	4,255	3,745	29.0%
全市	89,208	85,592	82,250	77,489	13.1%

※減少率は2005年から2020年にかけての人口減少率

人口減少の激しい地域は生き残れるのか!

問 成果が出ていないが、政策的、組織的にできているのか

答 本庁も振興局と一緒に課題に取り組んでいる。

現代社会において、最も重要な人権問題に対する市の取り組みと体制づくりはどうか

答 人権問題の解消を目指して啓発事業の実施や研修会に参加して人権意識の向上を図っている。

問 少数意見の方や声を出しづらい方々がいる中で、対応できる体制づくりはできているのか

答 課題自体が大きいので、なかなか厳しいが、今はこの体制で精一杯やっています。

写真下の **二次元バーコード** で
質問の録画映像をご覧いただけます



これまでの関貫市政の成果は？

答 継続性を意識して取り組みを進めてきた

問 市が人口減少対策で取り組みできた地方創生事業のノウハウの野生復帰、外国人観光客の拡大、深さを持った演劇のまちづくり、ジエンダーギャップの解消などの事業は大きな成果を上げてきた。国から高い評価を得て、多額の地方創生交付金を得て事業を進めてきた。全国的にも注目され、移住者が増えて専門職大学もできた。しかし、最近ではそれらの事業について、市としての積極的な姿勢が見られず、普通のまちになってしまっているのではないかと危惧する。市長としてどのように取り組んできたのか



工費が高騰して計画が見直される新文化会館整備

問 新文化会館の本体工事費は当初が49億円だった。1年近くかけて3億円を削った。その後、入札が成立せず、調査したら3年半のうち約30億円も工事費が上がった。先送りしたことが大きな負の結果をもたらしたと思うがどうか

答 最大限ベストの判断をしたと思っている。

問 地方創生戦略の事業は継続性を意識し、取り組みを進めてきた。ほとんど施策は、前

答 市政の継続だ。国からのこれらの事業に対する交付金の支援は5年程度の期限があり、新しい施策やグレードアップがないと交付されない。このままでは獲得してきたものを手放し、施策の幅を狭めていくのではないかと。今年度から検討していく必要がある。

問 災害対策も遅く、津波の際に区長に学校の鍵を預けてほしいと当初から議論して、6月議会ですそうする方針だと示されたが、実際に預けられたのは8月上旬。7カ月かかった。判断は早くした方が良いのでは

答 反省して、今後きっちりやっていきたい。



前野 文孝 議員

豊義会



地域観光戦略の策定状況は

答 現在策定しており来年度から実行したい

問 本市は旧町を1つの区分とし、それぞれの地域で特色をいかした観光地経営を行っている。市民との共創に重きを置く関貫市政において、限られた財源を有効に使い、戦略的に地域の実態に伴う市政運営を行うためには、地域観光戦略の策定は非常に大切なものだと考えるが策定状況は

答 現在、地域ごとの戦略策定に向け、主体である観光協会と調整を行っている段階であり、いまだ策定には至っていない。

問 いつのタイミングで完成させて、どの時期から地域の観光を戦略的に推進していくのか

答 できたら来年度から



特徴のあるそれぞれの観光地 (市HPより)

議員のひとこと
地域の実情に合った計画を事業者とともに作り、市民に喜ばれる観光地づくりの推進を！

問 部活動は異年齢との交流の中で、生徒同士や、

答 部活動は異年齢との交流の中で、生徒同士や、

部活動時の子どもの移動

部活動は異年齢との交流の中で、生徒同士や、

特徴のあるそれぞれの観光地 (市HPより)

部活動後、路線バスを利用して下校していたが、利用者の減少などを理由に減便され、送迎ができない場合は部活に行くことができず困っている事例もある。子どもたちの移動に関して市の認識は、



前田 敦司 議員

豊義会





須山 泰一 議員
日本共産党豊岡市会議員団



毎週水曜のノー残業デーの目的は

答 仕事以外の生活の充実を図りたい

問 失われた30年と言われる日本。民間だけでなく公務にも非正規労働が広がり、低賃金に抑えられている。非常勤の国家公務員では、3年ごとの公募選考を改め、不安定雇用の解消や人材確保につなげると報道されている。本市でも同様に雇用の安定を図れないか

答 非常勤の国家公務員は、これまで最大3年ごとに公募と試験を実施し、再度の任用を行う必要があった。それを、公募によらず、勤務成績等を踏まえ、再度の任用ができるとする取り扱い変更が2024年6月に行われた。本市における会計年度任用職員

の任用は、国の制度も参考にしつつ、平等取り扱い原則および成績主義原則を踏まえ、本市の実情に合わせた適正な運用を図りたい。

問 労働時間の問題として、毎週水曜日の「帰ろうデー」の意義は何か

答 「帰ろうデー」の趣旨は、職員誰もが週に一度は定時に退庁し、家族とのふれあいや心身のリフレッシュ、健康保持、趣味を楽しむ等、仕事以外の生活の充実を図ること



10月1日からの兵庫の最低賃金は1052円です

とが目的である。時間外勤務の縮減を図りたい。

問 民間労働者の待遇改善についても、市としてできることをやってほしい。他の自治体で公契約条例というものがあるが、本市の考えはどうか

答 公契約条例は、地方公共団体等が発注する建設工事や業務委託等の契約において、労働者の適正な労働条件を契約条項として義務づけるもの。本市は公契約条例を制定していないが、労働関係法令は当然遵守されるべきで、最低賃金をはじめ、適正な労働条件は確保されなければならない。

議員のひとこと
労働時間短縮で、自由に処分できる時間の拡大を。

新文化会館整備の進め方は

答 12月までに方向性を出したい

問 12月の議会までに何が示されるのか

答 計画通り90億円ぐらいのものを建てるのか、縮小を図って建てるのか、現市民会館の長寿命化を図るのかを含めて方向性を出したい。



小森 弘詞 議員
豊義会



地域包括支援センター

問 地域包括支援センター運営を社会福祉協議会に委託していたが、来年度から港地区を除く旧豊岡市の業務を市が直営で行うことになった。セン

ターの運営体制や課題、今後の展望は



総合体育館と南中学校の間の新文化会館建設予定地

議員のひとこと
相次ぐ入札不調、整備計画の大幅な遅延。費用だけではなく、市の文化政策、都市機能も含めた幅広い検討を速やかに進めるべきです。



答 必要な体制として15名で、市職員としての採用決定後、不足する職員は社協から派遣していた

だけ。課題は、深刻化したケースの増加や、介護予防ケアマネジメント業務の件数がさらに増加することが見込まれる。核となる旧豊岡市を直営にすることで、地域包括ケアシステムの深化、推進

を図る。

適正な事務処理

問 頻発する事務処理の誤りについて、原因と対策は

答 原因の特定はできていないが、組織マネジメントの問題、業務の多様化、複雑化、リソース不足や職場の物理的な環境が課題と考える。公表基準を作り、公表することを前提に、覚悟を決めて、今までの仕事のやり方が正しいのか見直し、市民の方々との信頼関係を構築したい。

議員のひとこと
福祉政策を市が主導で推進するチャンスと捉えて効果的な運営を期待する。

写真下の **二次元バーコード** で
質問の録画映像をご覧いただけます



市役所は働きやすい職場とと思うか

答 職員意識調査結果を踏まえ改善に努めている

問 職員意識調査で主要項目のポイントが増減した理由を分析改善したか

答 働く意欲が低下するという傾向が見られた。上位の役職を担いたいという項目に対し、男性と女性で24・6ポイントの差があり、意識に性差が見られた。職員の成長を支える仕組みの整備、職場のジエンダーギャップ解消などを目指している。



本庁舎には約750人の職員が働いている

て支援、医療的ケア見などの福祉支援、地域づくり事業など長期的な取り組みを進めていきたい。

議員のひとこと

特別交付税額を維持するための努力を。



から40歳代の中堅層への重点的な取り組みが大変重要であると考えている。その後少し回復しているので、できる対策をして改善に努めている。

問 実態把握のため、会計年度職員への調査の必要性をどう考えているか

答 検討したい。

問 特別交付税は全国的に見ても多額である。交付額を維持するためにどのように努力するか

答 継続している市独自の特徴的な取り組みが評価され、特殊財政事情として反映している。子育て

40歳代が29・1%という結果だが、どう感じるか

答 女性職員は仕事と家庭の両立の難しさが影響しているのでは。30歳代

19年度を比較すると、余裕があるように見受けられるが、未来永劫ではない。引き続き緊張感をもって取り組んでいきたい。



松井 正志 議員
令和とよおかクラブ



就学援助制度の周知徹底と拡充を

答 入学時チラシ配布、振興局等にチラシで周知

問 就学援助制度は、小学生に学用品や入学準備金、給食費、医療費などを補助する制度で、本来なら憲法26条の規定で、誰にも支給されるべきだが、現在は生活保護世帯と準要保護世帯が対象となっている。随時の申請を周知し、子育て家庭の応援をすべきだと思うかどうか

答 学校では、児童生徒の様子を踏まえ、保護者と面談し、制度の案内など丁寧な周知に努めている。2023年度は、準要保護世帯756名を認定し、そのうち124名が年度途中の申請である。

問 他の自治体では全世帯に周知が届くような方法をとっているところもあるが、本市はどうか

答 何かいい方法がないか考えていきたい。

議員のひとこと

準要保護家庭への就学援助費は国の制度改悪により、国から市の負担となり、一般財源化された。国が7人に1人、本市は6.8人に1人の割合である。さらに就学援助制度の周知徹底を！



包括支援センターは市の直営継続を

問 当面の間、市の直営

運営ではなく、市が主に

運営している。2023年度と2019年度を比較すると、余裕があるように見受けられるが、未来永劫ではない。引き続き緊張感をもって取り組んでいきたい。

問 包括支援センターは市の直営継続を

運営ではなく、市が主に



上田 伴子 議員
日本共産党豊岡市会議員団



制度を知って、該当の世帯は申請を！

では形が必要ではないか



木谷 敏勝 議員
豊義会



やり遂げる意気込みはあるのか！

強い決意と覚悟を持って市政推進に当たる

答

問 選挙公約である豊岡に住んでよかった、「主人公は市民」の実現に向けた取り組みの達成感と、所信である市民の声に謙虚に耳を傾けるという姿勢に関して現時点での自己評価はどうか

答 見る目、聞く耳が違うところ、いろいろな言葉があると思う。

問 魅力ある豊岡を築くための重要な事業が進行中だが、市長総括説明を聞いても政策意思が感じられない。残り任期の半年で諦めずに職務に専念するという意識、結論を先送りしないという決意について、市長の覚悟は

答 これまで強い決意と覚悟を持って市政推進に当たってきた。残りの任期も同様に取り組みたい。

問 子育て支援については一定の評価をしているが、まだ不十分だ。行政サービスの効率化はおおむね評価できると考える。市民の声に耳を傾けるということについてもおおむね評価できると考えている。

問 新文化会館建設の現状は、自らが失点しないように振る舞い、試合が終わるのをひたすら待っているように

答 あらゆる可能性を排除することなく検討し、できる限り早期に方向性を示したい。

問 市長の顔が見たい、市長のあいさつが聞きたいという市民の方がたくさんおられる中で、突然来られなくなったり、考えを聞いてもらえないという声を大変多く聞か、頻繁にあったのか

答 新文化会館建設の現状は、自らが失点しないように振る舞い、試合が終わるのをひたすら待っているように



豊岡市の文化活動が停滞しています 早期建設を！(新文化会館建設予定地)

この記事は議会広報広聴特別委員会の責任において作成したものです。

【訃報】

去る9月28日、木谷敏勝議員がご逝去されました。

木谷議員は旧豊岡市時代から議員を務められ、議長を3回務められるなど、長きにわたり市政の発展にご尽力されてこられました。その功績が認められ今年5月に「全国市議会議長会 議員30年以上表彰」を受けられました。ここに故人の功績をしのび、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

意見書・請願

意見書

「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正に関する意見書

審議結果 全会一致で可決



要旨

学校現場は、教員希望者の減少に加え、病気休職者の増加や早期退職者の増加など、深刻な教職員不足により子どもたちのゆたかな学びと育ちに大きな支障を及ぼしている。持続可能な学校の実現のためには、教職員の勤務環境の改善と、国においては、持続可能な学校の実現と子どもたちのゆたかな学びの保障のため、学校の長時間労働是正に資する政策実行を求める。

- ① 教職員の負担軽減をはかる観点から、国として具体的業務削減策を示すこと
- (1) 部活動の地域移行をさらにすすめるため、財政的措置等を講ずること
- (2) 「カリキュラム・オーバーロード」の実態にあることから、学習指導要領の内容の精選やそれに伴う標準授業時数の削減等を行うこと
- ② 教職員定数改善を実施すること
- ③ 自治体でのとりくみが確実にすすむよう、人の配置・確保も含め、推進のための必要な財源確保等を行うこと
- ④ 教員のいのちと健康が守られる法制度の整備をはかること
- ⑤ 引き続き、勤務実態調査を行った上で、その結果に基づき必要な措置を講ずること

請願

請願第3号

「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正に関する件

審議結果 みなし採択



提出者

豊岡市教職員組合 執行委員長 小田 一洋

意見書の提出を求める。

新文化会館整備事業

9月定例会一般質問にて多く取り上げられた新文化会館整備事業について、概要をお知らせします。

市は2018年度以降、順次「基本構想」「基本計画」「基本設計」「実施設計」をまとめ入札を行ったが、3度にわたり入札不調であった。

今議会の市長総括説明において、調査を行った結果、2023年2月に試算した全体事業費65億円に対して、約40%近く高騰していることがわかった。市としてはこのまま事業を進めることは慎重にならざるを得ないとし、今年の12月末までに再検討の方針が示されることになった。



12月定例会の日程(予定)

開 会	11月29日(金)
一般質問	12月 9日(月)～12日(木)
常任委員会審査 (総務・文教民生・建設経済)	12月16日(月)9:30～
常任委員会審査(予算決算)	12月12日(木)※1・23日(月)※2
特別委員会審査	12月23日(月)9:30～
閉 会	12月25日(水)

※1 一般質問終了後に開催 ※2 13時～

・本会議は市の議場で開催します。

【傍聴について】

一時保育(無料)もありますので、一時保育利用希望者は1週間前までにお申し込みください。また、豊岡市議会インターネット中継によりパソコン、スマートフォンから審議の様子を生中継でご覧いただけます。

■問合せ/豊岡市議会事務局

☎ 0796-23-1119

視察報告



議会運営委員会(8月8日～9日)

議会改革の取り組み
(滋賀県彦根市)

開かれた議会の一環として年2回の議場コンサート、また子ども議会を開催し議会への関心を深めてもらう活動を継続。

特筆すべきは、滋賀大学生の議会報告会参加、議員と学生のグループワーク、大学が実施する講義「哲学対話」と連携した新たな形の議会報告会など、地方自治および地域社会の活性化と人材育成に寄与する目的で協定が締結されていることだ。

議員が授業に参加し意見交換を進め、大学のスキルや専門性を議会からの政策提言に生かすという話を興味深く伺った。

(京都府舞鶴市)

コミュニケーションに議員が出演し議会情報を発信。児童生徒の議会学習会の機会の案内や、定例会や委員会の活動の動画をYouTubeで配信、わがまちトークの実施など市民に開かれた議会を推進。常任委員会の重点事項に沿って選定した政策の進捗状況を確認し評価意見を市長に提出、任期当初に重点事項を定め調査研究を経て市長へ政策提言するなど積極的に委員会活動をされており、参考となった。



彦根市で説明を受ける委員



議会広報広聴特別委員会(7月29日～30日)

充実したグループワーク形式の広聴活動と 広報紙(兵庫県西脇市)

1年で市内20自治体と市内団体を対象に議会報告会を行っている。市民や議員からはグループワーク方式が活発な意見交換ができると大変好評とのことだった。

「高校生版議会報告会」が開催され、好評につき、今回は高校生議会を実施予定である。

こうした機会を得られた市民意見の中から重大なものについては、市当局へ議会から政策提言を行い、政策実現まで至っていることは参考にすべきたと感じた。

まるで雑誌のような市民に親しまれる広報紙 (徳島県勝浦町)

町民に関心を持ってもらえるように議会広報紙を読みやすく、わかりやすく手にとってもらえる紙面づくりのために、デザイナーを編集アドバイザーとして導入している。

町民のみで政策テーマについて議論する



勝浦町議会にて

「オーバートーク」という企画等が記事となり、参加した住民の町政への関心が高まり、町議会議員への立候補にもつながっていた。広報紙が広聴活動も担っていると感じた。

交通網問題対策等調査特別委員会(7月17日～18日)

地域公共交通の取り組み「とりモビ」 (鳥取県鳥取市)

鳥取市では、高齢者や若年層、子育て世代を中心に自宅から商業施設や病院、教育機関への近距離移動に対するニーズが高い。利便性の高い交通手段を導入することで移動需要を増やし公共施設や商業施設への来客が増え、まちが活性化することが考えられる。

本市においても、利便性の高い交通手段の導入が喫緊の課題である。

地域公共交通の取り組み

「伯耆町型バス事業」(鳥取県伯耆町)

スクールバス(無料)とデマンドバス(有料)を兼ねるなど効率的なバス運行を展開しながら、研修バスについては、老人クラブ・社協が研修等の行事により団体で外出する際に無料で運行している。

本市においても、高齢者外出支援の取り組みの観点から必要と感じる。

鳥取県の地域公共交通の実現に向けて

(鳥取県)

インバウンド客・国内観光客の利便性や満足度の向上を目指した基盤整備は本市にとっても喫緊の課題である。



鳥取市議会議場にて

防災対策調査特別委員会(7月18日)

大阪市立阿倍野防災センター 「あべのタスカル」(大阪府大阪市)

大阪市立阿倍野防災センターは、南海・東南海地震や南海トラフ巨大地震などの大災害に備えるため、自分の住む地域の特性に応じた災害の危険度を認識することで、必要な知識や技術を選択し、体験を通じて学ぶことのできる、体験型防災学習施設である。

当委員会はいくつかある体験コースの中から約1時間にわたり、自助について学ぶコースを受講した。実際の震度7の揺れを体感できることや、災害の恐ろしさを現実的に知ること、消火・避難・救助といった災害時に必要な一連の行動を体験学習することができた。

大阪市が運営、無料で利用でき、近年の防災意識の高まりから、多くの来場者があるようである。実際に体験し、大阪市の行政として市民を守るため、防災に対する取り組みに注力されている姿勢を強く感じた。本市においても地震、津波といった災害に備えるべく、日常的に防災意識の向上に努めたい。



あべのタスカルロビーにて

豊岡スマートコミュニティ推進機構との懇談会

多様な地域課題を抱える地方自治体と各種最新技術やノウハウを有する組織が相互に連携・共創することにより、住む人、訪れる人にとっての地域の価値を高めるとともに、地域の持続可能性を向上させていくという目的を持った、豊岡スマートコミュニティ推進機構（TSC）9名との懇談会を実施した。

事業内容の説明を受けたあと、意見交換が行われ、多くの意見が出された。その中で感じたことは、ますます多様化する地域課題の解消に取り組むためには、スピード感、柔軟性、民間等との共創および最新技術の活用が必要であること。また、多様な分野で活発に取り組みが行われてくると、市役所における既存の部署での対応ではなく、部署を越え庁内横断的な対応ができる組織が必要であることを強く感じた。懇談会の最後、TSCから議員に対し次の要望が出された。「まだまだ市民に認知されていない事業を推進するためにも、TSCが主催する事業『みんな×エール』などに参加いただき市民にお伝えいただきたい。」



熱心に説明を聞く委員

ドーナツの会との懇談会

NPO法人コウノトリ豊岡・いのちのネットワーク「ドーナツの会」は平成23年11月発足以来、兵庫ひきこもり相談支援センター但馬地域ランチとして活動されている。活動の理念として、①この世に誕生したすべての命が孤立することなく大切にされ、その人らしく幸せに生きていくことができるよう、誰もが居場所と役割をもって幸せに生きる包摂型社会の実現②多様な不登校やひきこもりの状態に合わせた個別支援を継続的に展開し、利用者が安心して元気を回復することを目指すとされている。

これまでの活動状況を戸田事務局長より伺い「不登校・ひきこもり支援について」意見交換を行った。身近に不登校やひきこもりの方がいるが、関わっている方が少ないこと、ひきこもりの支援を継続できる持続可能な仕組みづくりや、障害者や高齢者など支援を必要とする

方々を地域で見守るシステムづくりなどについて、さまざまな意見交換ができた。当委員会としても社会問題となつていない不登校・ひきこもり支援について、今後の活動に生かしていきたい。



ドーナツの会より7名、委員7名で意見交換

豊岡コウノトリ湿地保全部隊との懇談会

昨年に引き続き兵庫県立大学にて、豊岡コウノトリ湿地保全部隊の皆さんと懇談会を行った。今回は「県立大学生と行政との連携について」がテーマで、まず学生から「当キャンパスには一芸と志を持った学生がそろっており、行政と連携して地域に対してさまざまな活動をしていきたいと考えているが、行政や地域との接点がありません、そのスキルを地域に還元することができておらず、どのような関わり方ができるのかを意見交換したい」との話を聞いた。

委員からは、子どもたちが地域の生物を知り勉強する機会として、例えばコウノトリKIDSクラブなどで学生たちが講師として一緒に活動してはどうか。また、日頃の研究を活かし社会環境をテーマとした企業との連携や、農業従事者への支援など、経済活動につながる活動を通して、地域の方々との交流を広げていくことが重要だ。などの多くの意見が出た。今後、学生たちの活躍が地域の活性化につながっていくのを期待する有意義な懇談会となった。



意見交換する委員と学生たち

あたたかな笑顔を訪ねて

—議員訪問インタビュー—

集う居場所ぱんぷきん (竹野町竹野)

「ぱんぷきん」は、地域の喫茶店の閉店をきっかけに、「竹野を盛り上げたい」との思いから、愛育班と婦人会の皆さんが中心となって開業された喫茶店です。関係者とスタッフが出し合い、令和2年7月にオープン。開業時には約100名もの方々が祝福に駆けつけ、賑やかなスタートを切りました。

大きな特徴は、運営スタッフ全員がボランティアで活動している点です。現在11名のメンバーが参加し、その多くが70代の方々です。手作りのきなこ飴やアイスコーヒーが評判で、地域の方々が集い、気軽にしゃべりを楽しむ場として親しまれています。

最近では、増加する外国人旅行者との交流や、電車の運行本数減少問題にも積極的に取り組んでおり、活動する皆さんの笑顔が絶えない魅力的な場所となっています。

心が温まる「ぱんぷきん」、ぜひ一度足を運んでみて下さい。

また、駅前のライトアップやマーケット、花見やぼたもち作りなど、季節ごとのイベントも毎月開催しています。これらのチラシは近隣団体に依頼して制作しており、地域全体で一体感を持って盛り上げています。

さらに、福祉の視点から地域住民へのお弁当配食事業も行っており、週3回、31名の方に温かいお弁当を届けています。配達時の会話も楽しみのひとつとして喜ばれています。



夏休み中に小学生もお弁当作りに参加

第33回全国市町村交流レガッタ

薩摩川内大会に参加して

9月7日から8日に鹿児島県の川内川特設会場にて全国から集まったクルーが熱いレースを繰り広げました。本市の豊岡市議会クルーフाइブは議会議員の部で堂々の準優勝に輝きました。

来年の9月は本市が開催地となります。全国から多くのクルーが来られますので歓迎したいと思います。

豊岡市議会クルーフाइブ
監督 西田 真



レース前に意気込むクルー

12月定例会の日程は17ページに掲載しています。

田中藤一郎 岡本昭治 森垣康平 竹中 理



上田伴子

委員長
前野文孝

副委員長
前田敦司

西田 真

議会広報広聴
特別委員会
一年間ありがとうございました

▼議会広報広聴特別委員会では、市民の皆さんにとって議会活動を少しでも分かりやすく伝えるため、委員の皆さんと活動を行いました。今期では表紙のリニューアルや、地域で活動される市民団体の方たちへの取材などを行い、デザイナーの方と相談する紙面作りも検討しています。

▼任期を終え、在籍する議員は変わりますが、皆さんにとって議会が少しでも身近になれるよう引き継いでいきたいと思えます。

(まえだ あつし)

編集後記